

一般社団法人日本児童養護実践学会関西ブロック主催 第3回社会的養護セミナーのご案内

テーマ

「社会的養護における専門性の新たなる構築に向けて ～ソーシャルペダゴギー (Social Pedagogy) の視点から～」

- 【話題提供】 吉田隆三 氏 (広畑学園 施設長)
- 【話題整理】 原田旬哉 氏 (園田学園女子大学 准教授)
- 【鼎談】 益田啓裕 氏 (あゆみの丘 セラピストリーダー)
- 藪 裕一 氏 (泉ヶ丘学院 児童指導員・個別対応職員)
- 明柴聰史 氏 (善照学園 統括主任)
- 【ファシリテーター】 阪野 学 氏 (大阪成蹊短期大学 准教授)

- <日時> 2015年9月5日(土)
午後4時00分～6時30分 (午後3時30分より受付)
- <会場> 西宮市大学交流センター
- <アクセス> 阪急神戸線 西宮北口駅下車北出口(2階)より通路デッキに沿ってお進み
頂くと円形デッキに出ます。その右手にあるACTA西宮東館の6階です。
- <主催> 一般社団法人日本児童養護実践学会関西ブロック
- <参加費> 2,000円(学会員1,000円) ※当日受付でお支払いください

第3回の社会的養護セミナーではソーシャルペダゴギーの概念をより実践に近づけ、具体的に社会的養護における専門性について検討します。

今回は、実際に児童養護で勤務する職員が中心となって鼎談形式で議論します。是非、社会的養護におけるイノベーション(新機軸)について一緒に考えてみませんか。

※ペダゴギーは「教育」あるいは「教育学」と訳され、ルソーやペスタロッチなどが提唱している伝統に根ざした専門的な「子育て」を指す言葉です。学校などの教科教育は含まない概念です。つまりソーシャル・ペダゴギーは、「社会による子育て」を意味し、ドイツなどのヨーロッパ諸国では、この分野の専門職を「ソーシャル・ペダゴグ」と呼んでいます。その社会的使命は子どもを社会の一員として世の中に送り出すことであり、「自立」と「自律」に向けて、社会に必要な「生きる力」を教育しているもので、児童養護施設の専門職員は、ソーシャル・ペダゴグに該当します。

参加申し込みは下記のメールまたはFaxでお申し込みください。

【お申込み連絡先】園田学園女子大学人間教育学部 原田旬哉

【申し込み締め切り】 2015年8月26日(水)

e-mail : j-harada@sonoda-u.ac.jp Fax 06-6429-9251

一般社団法人日本児童養護実践学会
関西ブロック第3回社会的養護セミナー

参加申し込み書

氏 名	会員の有無	所 属	役 職	連 絡 先
	会 員 非会員			住所
				電話番号 E-mail
	会 員 非会員			住所
				電話番号 E-mail
	会 員 非会員			住所
				電話番号 E-mail
	会 員 非会員			住所
				電話番号 E-mail